



# ジェンダード・イノベーション

～一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く～

Gendered Innovations

令和3年 **8月18日** 水 | 13:30  
日 | 17:45

開催趣旨: ジェンダード・イノベーション (科学や技術, 政策に性差分析を取り込むことにより, 新たな視点や方向性を見だし, 真のイノベーションを創出する) の重要性が, 今, 認識されるようになってきている。研究開発や社会活動のあらゆる場面において, さまざまな視点と角度から検討し取り組むことの重要性を, 社会のあらゆる立場の方々, (とくに, 次代を担う若い世代の方々) と一緒に考える。

## 13:30 開会挨拶

梶田 隆章 (日本学術会議第三部会員・会長, 東京大学宇宙線研究所教授)  
吉村 忍 (日本学術会議第三部会員・部長, 東京大学副学長・大学院工学系研究科教授)  
越智 光夫 (日本学術会議第二部会員, 広島大学学長)

## 総合司会

北川 尚美  
(日本学術会議第三部会員, 東北大学大学院工学研究科教授)

## 13:40~14:00 趣旨説明

渡辺美代子 (日本学術会議連携会員・性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会委員長, JST 副理事・ダイバーシティ推進室室長)

## 14:00~14:45 基調講演 (講演30分, 質疑応答15分)

自然科学・工学におけるジェンダード・イノベーション (同時通訳)  
Londa Schiebinger (スタンフォード大学ジョン・L・ハインツ科学史教授) ※Zoomライブ講演予定

## 14:45~15:00 休憩

## 15:00~16:30 講演

データから見える日本の姿とその未来  
相田美砂子 (日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐 (研究人材育成担当))  
ジェンダーバイアスを生む心のしくみ  
森永 康子 (広島大学大学院人間社会科学研究科教授)  
ICTが紡ぎ出すダイバーシティ推進の未来像  
平川 正人 (鳥根大学大学院自然科学研究科教授)  
薬物有害事象の発現リスクにおける性差分析  
石澤 有紀 (徳島大学大学院医歯薬学研究部准教授)  
性差医療の現状と今後の展望  
片岡 仁美 (岡山大学病院ダイバーシティ推進センター教授)  
「自然体」一人間中心を追求したMX-30開発  
竹内都美子 (マツダ株式会社人事本部本部長)

## 参加申込方法 オンライン開催

8月15日(日) 24:00までに、下記URLまたは  
右記QRコードからお願いします。[https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/science\\_council\\_of\\_japan](https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/science_council_of_japan)

## 16:30~16:40 休憩

## 16:40~17:40 パネルディスカッション —「他人事」ではなく「自分事」に—

モデレータ 堀 利栄 (日本学術会議第三部会員, 愛媛大学大学院理工学研究科教授, 副学長 (ダイバーシティ担当))  
パネリスト 渡辺美代子, 相田美砂子, 森永 康子, 平川 正人, 石澤 有紀, 片岡 仁美, 竹内都美子  
白川 俊之 (広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)  
今村 維克 (岡山大学大学院自然科学研究科教授)  
高山弘太郎 (日本学術会議第二部会員, 豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授, 愛媛大学大学院農学研究科教授)

## 17:40 閉会挨拶

相田美砂子 (日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐 (研究人材育成担当))

## 17:45 閉会

主催: 日本学術会議第三部, 日本学術会議中国・四国地区会議, 日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会, 国立大学法人広島大学

共催: 国立大学法人愛媛大学, 国立大学法人岡山大学, 香川大学, 高知県公立大学法人高知工科大学, 国立大学法人高知大学, 国立大学法人鳥根大学, 国立大学法人徳島大学, 国立大学法人鳥取大学, 国立大学法人鳴門教育大学, 国立大学法人山口大学, 国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム (牽引型/代表: 広島大学), 四国発信! ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト (牽引型/代表: 徳島大学), SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク (牽引型/代表: 鳥根大学), やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム (牽引型/代表: 山口大学), SHINEプログラム (先端型/岡山大学), 未来を拓く地方協奏プラットフォーム (HIRAKU) (代表: 広島大学), 地方協奏による世界トップクラスの研究者育成 (HIRAKU-Global) (代表: 広島大学)

後援: 公益財団法人日本学術協財団